演習Ⅰ

科目ナンバリング　SEM-301
必修　　2単位

山中　左衛子

1. 授業の概要（ねらい）

新型コロナウィルスの流行は、世界中で人々の行動を内に向かわせています。対面接客を中心とする業種では、労働力不足の状況から一転、新型コロナが対面接客の常識を変え、AIの導入を加速させるなど、非接触化と省力化が同時進行しています。加えてホスピタリティ産業全体が、SDGs、特に地球温暖化に対する危機感の高まりとともに、改革を迫られています。

当ゼミは、宿泊業、飲食業、旅客業、エンターテインメント業など、ホスピタリティ産業を対象に「ホスピタリティマネジメント」という経営の視点（組織文化、マーケティング、組織マネジメント）で研究したい人を求めます。各国のホスピタリティ、日本の地域特有のもてなしについて興味がある人も歓迎します。テーマを具体的に絞りこんで、基本的にグループで調査研究を行い、グループで批評し合い、協働して問題解決型の論文を書き上げます。

また企業人として必須の「考えて伝える力」を磨く時間を設けます。皆さんは、様々な話題で「発言する」ことからはじめ、主にホテルビジネスでの社内外の場面を想定したケーススタディやホスピタリティ産業に題材を取った新聞・雑誌等の記事をもとに意見を出し合い、短い文章を書くことを繰り返して「思考を言葉にする」力の向上を目指します。

なお産業界からゲストスピーカーを招くことがあります。

2. 授業の到達目標

(1）自らの興味に応じ研究テーマを設定、研究計画を立てられるようになります。
(2）問題を発見、情報を収集して原因を探り、問題解決への一歩を考えるようになります。
(3）企業人として必須の前に踏み出す力、チーム力、プレゼンテーション力、メール・文書作成力等に加え、社会人のマナーが身につきます。

3. 成績評価の方法および基準

出席は必須です。発表内容（評価割合40%）、グループワークへの積極的な参加（評価割合20%）、リアクションペーパー（評価割合20%）、ゼミ運営への貢献（評価割合20%）により評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
適宜資料を配付します。
訪日外国人消費動向調査（観光庁HP）
訪日外客数統計・データ（JNTO HP）
参考文献
デービッド・アトキンソン　『新観光立国論』　東洋経済新報社
徳江順一郎〔編著〕石川達也・植松大介・内田彩・木本和男・崎本武志・杉浦康広・髙橋祐次・田上衛・竹内俊彦永山久徳・成実信吾・山中左衛子　『宿泊産業論』　創成社

5. 準備学修の内容

必要に応じて、授業の終わりに次回のテーマに関連した資料を配付しますので、準備して参加しましょう。
訪日外客数の統計・データ（JNTO　日本政府観光局）については、各自目を通し、概要を把握しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

本演習で自分の研究テーマを追求することは、就職の際はもちろん、社会人になってからも必ず役立つ経験になります。

初回および第9回「資料の探し方」をLMSによるオンライン授業とする予定です。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション、自己紹介
【第2回】　フレームワークとは
　　PREP法　文章の書き方
【第3回】　産業別の課題①　グループ討議①
【第4回】　産業別の課題②　グループ討議②
【第5回】　産業別の課題③　グループ討議③
【第6回】　研究テーマの仮設定とグループ分け
【第7回】　仮テーマに沿ったグループ別討議とテーマ決定、テーマの絞りこみ
【第8回】　調査・研究の進め方
【第9回】　資料の探し方（LMSによるMELICセミナーを予定）
【第10回】　調査・研究・討議①
【第11回】　調査・研究・討議②
【第12回】　調査・討議③
【第13回】　調査・討議④
【第14回】　方向性プレゼンテーション
【第15回】　後期に向けて